

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立玉野光南高等学校	
実践者等		三善 真洋	実践日 令和4年5月12日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		情報テクノロジー	
対象生徒(学年等)		情報科2年	
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化	
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用	
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化	
		☒ その他(授業配信)	
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】自宅待機の生徒は、<u>Google Meet</u> で参加 (1) 小テストの実施 ・ <u>Google フォームのテスト機能</u> を利用し、Classroom に投稿する。 ・ 基数に関する内容。 (2) 各小テストの解説 ・ 各問に、二人一組のグループを作り、解説を考え発表させる。 ・ 自宅待機の生徒は、グループに Google Meet を用意し、参加させる。 ・ <u>解説を、Google Jamboard にそれぞれまとめさせる。</u> ・ Jamboard のシートは事前に用意し、全体へ共有する。 (3) まとめ、解説の補足をする (4) 本時の振り返り ・ 振り返りフォームに、回答する。			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 前回の授業の資料や板書 (Classroom にアップ) を、見て小テストへ向けて復習してくる。 (本時後) 本時の小テストを再配布し、もう一度取り組み定着を図る。			

